

アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）

～「当たり前」は「当たり前」か？～

「アンコンシャス・バイアス」をご存知ですか？「無意識の偏見」ともよばれ、「人が無意識に持つ偏見や思い込み」のことを指します。私たちは育った環境や、これまでの経験、人との関わりの中から積み重ねられた認識のもと、生活しています。多くの人々（マジョリティ）が「当たり前」だとして、意識すらしていないことにより、少数派（マイノリティ）の人々が傷ついたり、理解されず苦しむ場面もあることを、私たち障害福祉に携わる者は理解する必要がありますでしょう。筑波大学の河野氏を招聘し、自己認識に対し学びましょう。

皆様のご参加、お待ちしております。

【日 程】	令和6年8月2日（金）15:00～17:00
【講 師】	河野 禎之 氏（臨床心理士・公認心理師） （筑波大学人間系 助教）
【場 所】	障害者支援センター松が丘園 3階研修室 （相模原市中央区松が丘1-23-1）
【対象者】	①相模原市内の障害福祉サービス事業所等の職員 ②相模原市内在住で市外の障害福祉サービス事業所等の職員 ③相模原市内在住か在勤の障害児者に関わる関係者等
【定 員】	25名

【申込み方法】

下記の二次元コードから、受付フォームにご入力下さい。

【申込み締め切り】

令和6年7月31日（水）

【お問合せ】

相模原市立障害者支援センター松が丘園

福祉研修センター（担当：北澤・天野）

電話 042（758）2121

【主 催】社会福祉法人相模原市社会福祉事業団

PC用URL

<https://sagamihara-shafuku.or.jp/study/forms/f4.html>



申込用二次元コード